

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		環境影響評価審査体制強化費		担当部局庁	総合環境政策局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度		担当課室	環境影響審査室	室長 小野 洋		
会計区分		一般会計		施策名	9-2 環境アセスメント制度の適切な運用と改善			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		環境影響評価法 第23条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		環境影響評価法の改正(第177回通常国会において改正案を審議中)SEAの導入、事後調査結果の報告・公表義務づけ等が盛り込まれ、審査業務等が大幅に増加する。今後、環境省として改正法案の施行及び円滑な審査を行うために、審査体制の強化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		各分野の専門家を登録し、審査案件ごとに意見聴取を行い、環境省としての意見形成に資する。また、専門家による検討会を半年ごとに年2回程度開催し、審査案件ごとの進捗情報等を共有する。 配慮書段階、方法書段階、評価書段階、事後調査の報告段階の4段階それぞれについて、事業種ごとに、環境大臣意見を述べる際に必要な全国的あるいは諸外国の知見(これまでに提出されたアセス図書情報の整理、全国的見地からの希少生物の生息情報、施工・維持管理の技術的情報、環境保全措置に係る情報、諸外国の先進的知見等)を収集、整理し、改正法に対応した審査を円滑に行えるようにマニュアル化する。 個別審査案件のうち特に重要なもの(諫早、リニア等)については、環境省において全国的見地から審査のための調査検討を行う。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算の状況	当初予算	-	-	-	54	42
			補正予算	-	-	-	0	
			繰越し等	-	-	-	0	
			計	-	-	-	54	42
		執行額	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
		配慮書段階、方法書段階、評価書段階、事後調査の報告段階の4段階それぞれについて、改正法に対応した審査を円滑に行えるようにマニュアル化する。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		配慮書段階、方法書段階、評価書段階、事後調査の報告段階の環境大臣意見の件数		活動実績(当初見込み)			()	()
単位当たりコスト		(円/)		算出根拠	執行額/環境大臣意見の件数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	50	38	個別案件の絞り込み等、業務内容を重点化したことによる減。				
	職員旅費	2	1					
	諸謝金	2	2					
	委員等旅費	1	1					
	計	54	42					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境影響評価の際に提出する環境大臣意見は、環境影響評価法を所管している国（環境省）が行う事業であるため、党外意見形成のための調査業務も地方自治体等に委ねる事業ではない。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定は、一般競争入札（総合評価落札方式）で行う予定であり、競争性は確保される。事業の目的に応じて業務内容を絞り込んだ仕様書に基づき業務を行う予定であり、コストの削減にも努めてまいりたい。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
<p>事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					